

## 警視庁遺失物管理ソフト 利用準備

### 第 1.41 版(ver1.41 対応)

作 成 者	警視庁遺失物センター
作 成 日	2015 年 2 月 20 日
最終更新日	2024 年 4 月 19 日

## 改修履歴

2015/02/26	ver1.12 初期リリース版
2015/03/11	ver1.14 EXCEL2007 で正常に動作しない不具合を修正
2015/03/21	ver1.22 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力シートに項目を追加 (明細番号、特徴欄 1、特徴欄 2)</li> <li>・一覧簿、預り書上の一部について物品表示名を変換するようにした。 (例：入力シート上の物品名「ネックレスゴールド製」は、一覧簿・預り書上は「ネックレス」と表記)</li> <li>・列 AM より右側を自由入力領域として、メモ等に活用できるようにした。</li> <li>・入力できる物件最大数を 500 件→2000 件に拡張</li> </ul>
2015/04/22	ver1.28 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力できる物件最大数を 2000 件→10000 件に拡張</li> <li>・セル内改行(ALT+ENTER)でデータ出力フォーマットが崩れる不具合を修正</li> <li>・入力シート上、個人拾得の「拾得日時」を拾得日と拾得時刻に分離</li> <li>・誤押し防止のため、入力シート上、「クリアボタン」の位置を変更</li> <li>・「届出書」シートに「届出書プレビュー」ボタンをつけた</li> </ul>
2015/08/06	Ver1.29 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設占有者拾得物件届出書の備考欄を少し小さくした。 (印刷時に環境によって備考欄の一部が次のページに分割される現象に対処)</li> </ul>
2016/04/26	Ver1.30 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力シートに現金内訳の項目を追加 (入力チェック用のため、提出用データには内訳は反映されません)</li> <li>・「コード」シートの物品コードをメンテナンス</li> </ul>
2024/04/08	ver1.40 <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利申告欄の選択肢追加(費用請求権を含めた選択肢)</li> <li>・ブランド入力欄追加</li> <li>・在中物品(物品 1、物品 2)の色、固有番号入力欄の追加</li> <li>・施設占有者拾得物件届出書に印字される物件の追加(2 件→3 件へ変更)</li> <li>・「コード」シートの物品コードをメンテナンス</li> </ul>
2024/04/08	ver1.41 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現金内訳欄のエラーを修正</li> </ul>

## 動作環境

OS Microsoft® Windows 10 以降

アプリケーション Microsoft® Excel 2016 以降

(ソフトの作成・検証は Excel2016 上で行っています。他のバージョンでは動作に差異があることがあります。)

拾得者の個人情報を取扱うので、

- パソコンの OS、アプリケーションは最新の状態にする
- ウイルス対策ソフトを導入、最新状態にする

等のセキュリティ対策を行って、情報流出等がないようにしてください。

## 配布物一覧

警視庁遺失物管理ソフトに関連して配布するものは以下のとおりです。

- ソフトウェア

警視庁遺失物管理ソフト(「警視庁遺失物管理ソフト V141.xlsm」)

※「V141 部分はバージョンにより変化します。」

- ドキュメント

警視庁遺失物管理ソフト 利用準備 (本ドキュメント)

警視庁遺失物管理ソフト 利用の手引き

警視庁遺失物管理ソフト 別添資料

## ソフトウェア、説明書の配布

ソフトウェア、説明書の配布は、警視庁のホームページ上で行っています。

バージョンアップ版の配布も原則としてここで行います。

警視庁ホームページトップページ(<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/>)

→①落とし物→②遺失物(申請様式一覧)の「施設占有者向け」の一覧からダウンロードできます。



## 落とし物をしたら

[落とし物をした方](#) >

[落とし物検索](#) >

[遺失物について](#) >

[落とし物はどこへ行くの？](#) >

[JRの遺失物取りまとめ駅一覧表](#) | [私鉄等の遺失物取りまとめ駅一覧表](#) |

[聴覚や言語等に障害があり電話等による遺失物に関する手続きが困難な方のための窓口（遺失物BOX）](#) >

[遺失物（拾得物）の送付手続き](#) >

[送付手続きについて](#) | [「見つかった方」の送付手続き](#) | [「拾われた方」の送付手続き](#) |

[警視庁遺失物センター案内図](#) >

[遺失物（申請様式一覧）](#) >

[行政手続のオンライン化について](#) >

相談・お悩み

[相談窓口](#)

[少年相談](#)

[犯罪被害者支援](#)

[落とし物をしたら](#)

[インターネットトラブル](#)

[運転免許に関する情報](#)

FAQ よくある質問

[情報が見つからないときは](#)

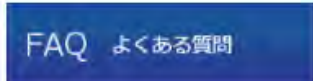
## その他の書式

- [物件送付依頼書 申請様式 \(PDF形式: 63KB\)](#)
- [物件送付依頼書 記載例・留意事項 \(PDF形式: 319KB\)](#)
- [委任状 申請様式 \(PDF形式: 54KB\)](#)
- [委任状 記載例 \(PDF形式: 73KB\)](#)

## 施設占有者向け

- [別記様式第18号 施設占有者拾得物件届出書 申請様式 \(PDF形式: 195KB\)](#)
- [別記様式第18号 施設占有者拾得物件届出書 記載例 \(PDF形式: 361KB\)](#)
- [警視庁遺失物管理ソフト \(FILES: 845KB\)](#)
- [警視庁遺失物管理ソフト 利用の手引き \(FILES: 2,495KB\)](#)

[情報公開・個人情報保護](#)  
(申請様式一覧)



ダウンロードします。

## セットアップ作業

警視庁遺失物管理ソフトは ZIP 形式で圧縮されています。

これを自分の端末に展開します。

Windows の機能を利用しても、他の展開用ソフトを利用してもかまいません。

＜Windows の機能を利用するとき＞

① ファイルを右クリックし、全て展開（T）...を選択します。



② 展開されたフォルダーを任意の場所に配置します。

以上でセットアップは終了です。

## ソフトウェアの起動

警視庁遺失物管理ソフト V141.xlsm をダブルクリック等で起動します。

(「V141」部分はバージョン番号を示すため、バージョンアップによって変わる可能性があります。)  
マクロを利用しているため、EXCELのマクロを有効にして利用してください。

(マクロが無効の状態では正常に動作しません。)

### EXCEL2016におけるマクロ有効化の例

起動時に次の表示がされたときは、「編集を有効にする(E)」ボタンを押下すると編集が可能になります。

保護ビュ - 注意 - インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がある場合は、保護ビュのままにしておくことをお勧めします。 編集を有効にする(E)

C7

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		Ver1.3									
2		基本情報設定	出力先フォルダ名	D:\						フォルダ選択	
3		施設占有者名								権利申告	報労
4		所在地								氏名等告知同意	同意
5		電話番号									
6		その他の連絡先									
7		役職 代表者氏名								提出データ作成	
8		拾得場所	施設名等							物品選択	一覧簿
9			所在地								
10			拾得場所区分								

次に「コンテンツの有効化」ボタンを押下すると、マクロが有効になります。

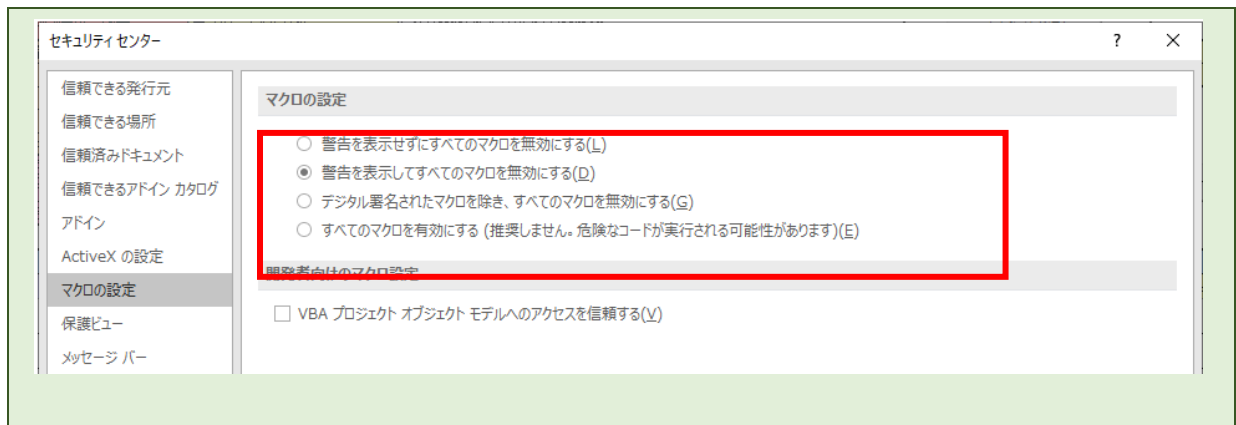
セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化

C7

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1		Ver1.3										
2		基本情報設定	出力先フォルダ名	D:\						フォルダ選択		
3		施設占有者名								権利申告	報労金の	
4		所在地								氏名等告知同意	同意する	
5		電話番号										
6		その他の連絡先										
7		役職 代表者氏名								提出データ作成		
8		拾得場所	施設名等							物品選択	一覧簿	
9			所在地									
10			拾得場所区分									

上記の表示がされず、入力シート上のボタンが反応しない等挙動がおかしいときは、次の要領でマクロの設定を確認し、「警告を表示して全てのマクロを無効にする」を選択してファイルを保存、再度起動した上で、上図の「コンテンツの有効化」を行って、マクロを有効にしてみてください。





## 利用上の注意

- 本ソフト及びドキュメントの著作権は警視庁が保有しています。
- 本ソフト及びドキュメントの二次配布は禁止します。
- 本ソフトはすべての環境において動作することを保証するものではありません。
- 本ソフト及びドキュメントを利用した結果について、警視庁は一切の責任を負いません。
- 本ソフト及びドキュメントの不具合等について警視庁は改修の義務を負いません。
- 本ソフト及びドキュメントは改良のため予告なく仕様変更することがあります。
- 本ソフト及びドキュメントの利用者は本「利用上の注意」に同意するものとします。